



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成27年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 ぴあ

コード番号 4337

URL <http://corporate.pia.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 矢内 廣

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート統括本部長

(氏名) 長島 靖弘

TEL 03-5774-5278

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	74,587	11.0	842	3.7	814	△1.4	680	△12.1
27年3月期第2四半期	67,186	4.8	812	51.0	825	52.7	774	100.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 690百万円 (△12.7%) 27年3月期第2四半期 790百万円 (100.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	48.38	48.03
27年3月期第2四半期	55.04	54.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	33,876	6,582	19.3	464.05
27年3月期	31,553	6,211	19.5	437.50

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 6,522百万円 27年3月期 6,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	127,000	△0.1	1,200	△5.6	1,200	△6.6	1,000	△15.8	71.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	14,207,013 株	27年3月期	14,092,913 株
28年3月期2Q	152,300 株	27年3月期	22,500 株
28年3月期2Q	14,068,569 株	27年3月期2Q	14,070,423 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国経済をはじめとした海外景気の下振れリスクはあるものの、企業収益や雇用・所得環境の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しており、国内レジャー・エンタテインメント市場におきましても、引き続き底堅く推移しました。

このような状況下、新たな中期経営計画の初年度にあたる当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、音楽・スポーツジャンルでのチケット販売が好調に推移し、第2四半期連結累計期間としては過去最高の売上高を達成しております。特にチケット販売サービスでは、音楽ジャンルにおける大型興行（Mr.Children、夏フェス等）に加え、スポーツジャンル（野球・サッカー・大相撲）の販売が第2四半期も前期を上回るかたちで好調に推移しました。

以上の結果、当社グループの第2四半期の業績は、連結売上高745億87百万円（対前年同期比111.0%）、営業利益8億42百万円（同103.7%）、経常利益8億14百万円（同98.6%）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億80百万円（同87.9%）となりました。

売上に貢献した主なイベントや商品は次のとおりであります。

<イベント>

「ROCK IN JAPAN FES. 2015」

「Mr.Children」

「嵐のワクワク学校 2015」

「Animelo Summer Live 2015」

「UVERworld」

「ポルノグラフィティ」

「ディズニー・オン・アイス」

「Perfume」

「CNBLUE」

「Acid Black Cherry」

「VAMPS」

<商品>

「夏ぴあ」（首都圏版/関西版/東海版）

「秋ぴあ」（首都圏版/関西版/東海版）

「食本」シリーズ（川口、武蔵小山、門前仲町、津松坂、広島、北九州他）

「羽生結弦語録」

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、338億76百万円となり、前連結会計年度末と比較して23億23百万円増加いたしました。流動資産は306億32百万円（前連結会計年度末比21億10百万円増）となりました。変動の主なものは、現金及び預金の増加（同24億91百万円）、受取手形及び売掛金の減少（同12億13百万円）であります。また、固定資産は32億44百万円（前連結会計年度末比2億12百万円増）となりました。

負債は、272億93百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億51百万円増加いたしました。流動負債は265億92百万円（前連結会計年度末比20億4百万円増）となりました。変動の主なものは、買掛金の増加（同19億5百万円）であります。固定負債は7億1百万円（前連結会計年度末比52百万円減）となりました。変動の主なものは、長期借入金の減少（同40百万円）であります。

純資産は、65億82百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億71百万円増加いたしました。これは、主に配当金2億11百万円の支払による減少と親会社株主に帰属する四半期純利益6億80百万円の計上等により利益剰余金が4億69百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して19億91百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末は151億12百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは45億39百万円の収入（前年同四半期は22億66百万円の支出）となりました。この主要因は、税金等調整前四半期純利益が8億14百万円であったこと、売上債権の減少が12億13百万円及び仕入債務の増加が19億5百万円であったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは20億95百万円の支出（前年同四半期は13億55百万円の支出）となりました。この要因は、定期預金の預入による支出5億円、有価証券の取得による支出10億円及び無形固定資産の取得による支出4億44百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは4億52百万円の支出（前年同四半期は4億24百万円の支出）となりました。この要因は、長期借入金の返済による支出1億22百万円、新株予約権の行使による株式の発行による収入1億91百万円、自己株式取得による支出2億99百万円及び配当金の支払による支出2億10百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、前回公表の予想数値に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

（税金費用の計算方法の変更）

税金費用については、従来、年度決算と同様の方法により計算しておりましたが、一部の連結子会社を除き第1四半期連結会計期間より、年度決算で見込まれる税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。この変更は、各四半期の利益に対応した税金費用を計上するとともに、当社の四半期決算業務の一層の効率化を図り、四半期決算における迅速性に対応するためであります。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,120,838	15,612,670
受取手形及び売掛金	13,695,050	12,481,625
有価証券	—	1,000,000
商品及び製品	135,146	110,118
仕掛品	1,597	2,726
原材料及び貯蔵品	4,533	4,488
その他	1,613,151	1,465,170
貸倒引当金	△48,389	△44,004
流動資産合計	28,521,929	30,632,795
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	90,180	85,735
工具、器具及び備品(純額)	150,569	143,330
土地	6,240	6,240
その他(純額)	54,110	61,384
有形固定資産合計	301,099	296,689
無形固定資産		
ソフトウェア	1,144,721	1,230,789
ソフトウェア仮勘定	51,435	110,829
その他	59,499	59,473
無形固定資産合計	1,255,656	1,401,092
投資その他の資産		
投資有価証券	890,320	952,691
その他	914,491	926,234
貸倒引当金	△330,038	△332,675
投資その他の資産合計	1,474,773	1,546,249
固定資産合計	3,031,529	3,244,031
資産合計	31,553,459	33,876,827

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,199,799	23,105,606
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	162,000	80,000
未払金	852,339	997,507
未払法人税等	132,853	164,115
賞与引当金	269,709	10,080
返品調整引当金	346,000	312,000
その他	1,525,429	1,823,221
流動負債合計	24,588,131	26,592,531
固定負債		
長期借入金	120,000	80,000
退職給付に係る負債	93,032	99,094
資産除去債務	62,212	62,596
その他	478,572	459,621
固定負債合計	753,817	701,312
負債合計	25,341,948	27,293,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,239,158	4,335,248
資本剰余金	402,670	498,760
利益剰余金	1,619,233	2,088,866
自己株式	△61,401	△361,230
株主資本合計	6,199,661	6,561,643
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,737	27,239
為替換算調整勘定	△18,257	△15,287
退職給付に係る調整累計額	△58,289	△51,471
その他の包括利益累計額合計	△43,810	△39,520
新株予約権	3,142	2,422
非支配株主持分	52,517	58,437
純資産合計	6,211,510	6,582,983
負債純資産合計	31,553,459	33,876,827

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	67,186,149	74,587,629
売上原価	61,594,577	68,779,448
売上総利益	5,591,571	5,808,181
返品調整引当金戻入額	311,000	346,000
返品調整引当金繰入額	272,000	312,000
差引売上総利益	5,630,571	5,842,181
販売費及び一般管理費	4,818,092	5,000,011
営業利益	812,479	842,169
営業外収益		
受取利息	801	848
受取配当金	5,840	6,734
持分法による投資利益	16,475	—
その他	2,217	3,347
営業外収益合計	25,334	10,929
営業外費用		
支払利息	7,672	4,177
持分法による投資損失	—	31,572
その他	4,222	2,836
営業外費用合計	11,895	38,587
経常利益	825,918	814,512
特別利益		
投資有価証券売却益	34,681	7,249
特別利益合計	34,681	7,249
特別損失		
減損損失	—	7,174
関係会社株式評価損	29,999	—
特別損失合計	29,999	7,174
税金等調整前四半期純利益	830,600	814,588
法人税等	51,341	127,979
四半期純利益	779,258	686,609
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,760	5,920
親会社株主に帰属する四半期純利益	774,498	680,688

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	779,258	686,609
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,581	△5,497
為替換算調整勘定	906	796
退職給付に係る調整額	7,252	6,817
持分法適用会社に対する持分相当額	—	2,172
その他の包括利益合計	11,740	4,290
四半期包括利益	790,999	690,899
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	786,239	684,978
非支配株主に係る四半期包括利益	4,760	5,920

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	830,600	814,588
減価償却費	240,103	249,589
のれん償却額	1,047	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	289	△1,747
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△199,518	△259,629
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△39,000	△34,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	12,755	12,879
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△92,923	—
受取利息及び受取配当金	△6,641	△7,582
支払利息	7,672	4,177
関係会社株式評価損	29,999	—
持分法による投資損益 (△は益)	△16,475	31,572
投資有価証券売却損益 (△は益)	△34,681	△7,249
減損損失	—	7,174
売上債権の増減額 (△は増加)	1,747,941	1,213,425
たな卸資産の増減額 (△は増加)	34,880	23,943
前渡金の増減額 (△は増加)	487,383	122,010
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,175,897	1,905,807
未払金の増減額 (△は減少)	△114,681	238,029
前受金の増減額 (△は減少)	△630,631	150,293
その他	△264,654	181,706
小計	△2,182,430	4,644,990
利息及び配当金の受取額	7,391	8,332
利息の支払額	△7,563	△4,036
役員退職慰労金の支払額	△1,640	△2,966
法人税等の支払額	△82,347	△106,356
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,266,589	4,539,962
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500,000	△500,000
有価証券の純増減額 (△は増加)	△500,000	△1,000,000
関係会社株式の取得による支出	△1,100	△100,643
有形固定資産の取得による支出	△41,875	△46,579
無形固定資産の取得による支出	△231,923	△444,652
投資有価証券の取得による支出	△100,000	—
投資有価証券の売却による収入	34,681	7,250
長期前払費用の取得による支出	△15,650	△8,788
その他	10	△2,061
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,355,857	△2,095,475
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△272,366	△122,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	191,459
配当金の支払額	△139,962	△210,476
自己株式の取得による支出	—	△299,829
その他	△11,730	△11,797
財務活動によるキャッシュ・フロー	△424,059	△452,643
現金及び現金同等物に係る換算差額	81	△10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,046,424	1,991,832
現金及び現金同等物の期首残高	16,292,855	13,120,838
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,246,430	15,112,670

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)
当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)
当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。